

複数施設研究用

研究課題ジェノタイプ層別化による膵癌治療効果判定の
個別最適化と高精度予後予測モデルの開発に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年1月1日～2025年12月31日に当院で膵癌に対する化学（放射線）療法を開始された方

2. 研究目的・方法・研究期間

膵癌は極めて制御困難な癌種のひとつですが、膵癌の集学的治療の開発が進み、切除困難な症例においても化学療法が奏功し切除が可能となる症例が増加しています。そのような中、最適な手術の適応判断が新たな課題となっています。本研究では、膵癌に対して術前化学療法を受ける患者に対してFUT2/3のジェノタイピングを行うことで、通常の診療におけるCA19-9あるいはDUPAN-2などの腫瘍マーカーによる治療効果判定能を高めることができる可能性があるかどうかを観察します。

主要評価項目としては、ジェノタイプ層別化カットオフ値の設定により、日常診療で用いる腫瘍マーカーの予後予測能が向上するかどうかを検討します。Log rank法を用いて予後評価を行います。研究期間は研究実施承認日より2030年12月31日までです。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、抗がん剤治療の治療経過、手術成績、生命予後、カルテ番号 等

試料：膵癌手術時の切除標本

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各医療機関の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 病態外科学（消化器外科学）

富山大学学術研究部医学系 消化器 腫瘍 総合外科

独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 外科

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計

画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター・病院講師・高見秀樹（電話 052-744-2245、ファックス 052-744-2252）

研究責任者：名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 病態外科学（消化器外科学）・教授・小寺泰弘

研究代表者：名古屋大学大学院医学系研究科 総合医学専攻 病態外科学（消化器外科学）・教授・小寺泰弘